

最新版 日本語教材

新日本 概況

この一冊で日本が分かる！

(日) 大森和夫 大森弘子 著

日本・国際交流研究所 発行

外语教学与研究出版社

最新版 日本語教材

新 日本 概況

この一冊で日本が分かる！

(日) 大森和夫 大森弘子 著
日本・国際交流研究所 発行

外语教学与研究出版社

京权图字：01-2014-4836

(日)大森和夫, (日)大森弘子

图书在版编目(CIP)数据

新日本概况 : 日文 / (日)大森和夫, (日)大森弘子著. — 北京 : 外语教学与研究出版社, 2014.9

ISBN 978-7-5135-5060-4

I. ①新… II. ①大… ②大… III. ①日本—概况—日文 IV. ①K931.3

中国版本图书馆CIP数据核字(2014)第216808号

出版人 蔡剑峰
项目策划 薛豹
责任编辑 田秀娟
装帧设计 平原
出版发行 外语教学与研究出版社
社址 北京市西三环北路19号(100089)
网址 <http://www.fltrp.com>
印刷 北京鑫霸印务有限公司
开本 650×980 1/16
印张 16
版次 2014年9月第1版 2014年9月第1次印刷
书号 ISBN 978-7-5135-5060-4
定价 35.00元

购书咨询: (010) 88819929 电子邮箱: club@fltrp.com
外研书店: <http://www.fltrpstore.com>
凡印刷、装订质量问题, 请联系我社印制部
联系电话: (010) 61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com
凡侵权、盗版书籍线索, 请联系我社法律事务部
举报电话: (010) 88817519 电子邮箱: banquan@fltrp.com
法律顾问: 立方律师事务所 刘旭东律师
中咨律师事务所 殷斌律师
物料号: 250600001

写真で見る【日本】という国



①国会議事堂



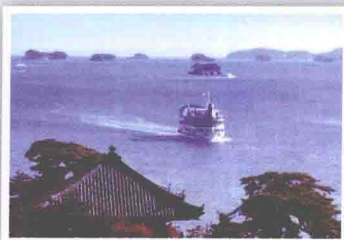
②皇居・二重橋
こうきょ にじゅうばし



③富士山と河口湖



④金閣寺



⑤松島 (宮城県)
まつしま



⑥天橋立 (京都府)
あまのはしだて



⑦宮島 (厳島神社・広島県)
みやじま いつくしまじんじや

——— 【日本三景】 ———



⑧東京スカイツリー（墨田区）



⑨鎌倉の大仏



⑩茶道の道具



⑪歌舞伎



⑫大相撲



⑬百人一首（かるた）



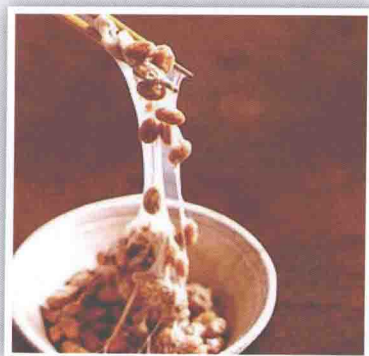
⑭京の舞妓



⑮羽子板



⑯握り鮓



⑰納豆



⑱夏目漱石



⑲宮沢賢治

〈夏目漱石、宮沢賢治は「切手」=郵模 1585 号〉

2011年3月11日・東日本大震災 (朝日新聞の紙面から)



⑳地震発生 (3月12日付朝刊)



㉑宮城県気仙沼市 (3月12日付夕刊)



㉒宮城県気仙沼市 (3月13日付朝刊)



㉓宮城県南三陸町 (3月15日朝刊)



㉔原発で爆発 (3月13日付朝刊)



㉕放射能飛散 (3月15日付夕刊)

まえがき

日本は、2011年3月11日に起きた東日本大震災と東京電力・福島第一原発事故によって大きな試練を受けましたが、「がんばろう！日本」を合言葉に復旧・復興が進み、「経済再生」に向かっています。

日本の政治は2012年12月の総選挙で様変わりしました。3年3カ月続いた民主党政権が崩壊し、かつて長期政権を維持していた自民党が、再び第一党になり、自民党と公明党の連立政権である安倍晋三内閣がスタートしました。「原発事故」を克服して、日本経済を成長戦略の軌道に乗せ、世界に「安全と繁栄」を誇れる国家に発展させることが日本の大きな課題です。

1964年以来二度目の「東京オリンピック・パラリンピック」が2020年に開催されます。「世界の平和」に果たす日本の役割が重要になってきました。

外国語を学ぶ目的は、外国の言葉で話をしたり、文字を読んだり、文章を書いたりすることだけではありません。「言語」を通して、その国の「社会」の姿や「文化」の形、人の「考え方・心情」などを理解することです。

外国語学習者にとって大切なのは、「語学訓練」に偏らないで、「その国の文化」を理解し、それによって、友好の絆を深めることです。

本書は、日本の政治、経済、歴史、国土、自然、文化など、今の「日本と日本人」を幅広く理解するための「日本語教材」です。

日本語を学びながら、日本について多くの分野の知識を身につけ、日本を少しでも好きになってもらえれば、と願っています。

2014年9月

大森和夫・弘子（国際交流研究所）

ちよしや りやくれき

著者の略歴

☆ **大森和夫** 1940年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。

朝日新聞記者（大分支局、山口支局、福岡総局、政治部、編集委員）を経て、1989年に国際交流研究所を設立。

☆ **大森弘子** 1940年生まれ。京都女子短期大学家政学部卒。

各種の「日本語教材」・編集長

◎ **出版物** 「中国の大学生、院生『日本語作文コンクール』」の各回の「作文集」、
「日中友好に関するアンケート集『中国の12,967人に聞きました。』」、「もう日本を恨まない＝夫婦の『日本語交流』十九年間の足跡」、「夫婦の『日中・日本語交流』～四半世紀の全記録～」、1989年以来、各種の「日本語教材【日本】」、など。

※ **国際交流研究所** 136-0076 日本・東京都江東区南砂6-7-36-709

E-Mail = yuraumi@yahoo.co.jp

URL = <http://kazuhiko.webcrow.jp/>

● 「表紙」の写真（富士山）

大森和夫

● 「表紙」題字の【日本】、『四章』のイラスト 大森弘子

も く じ
目 次

一章	「日本」の姿	1
一節	政治の歩みと課題	2
二節	日本経済の推移と現状	17
三節	「少子高齢」社会と福祉	24
四節	教育の変遷と今	30
五節	東日本大震災と原発事故	39
六節	復旧から復興へ	44

二章	国の形と仕組み	51
一節	国土と人口	51
二節	三権分立	54
三節	日本国憲法	62
四節	元号(年号)	66

三章	歴史	69
一節	原始・古代	69
二節	中世	76
三節	近世	79
四節	近代と現代	84

四章	自然	93
四季	季語と年中行事	93
一節	春	94

二節	夏	107
三節	秋	118
四節	冬	127

第五章 でんとう 伝統文化 143

一節	<small>げいじゆつ</small> 芸術 143
一	<small>か どう い ぼな</small> 華道(生け花) 143
二	<small>さ どう ちや ゆ</small> 茶道(茶の湯) 149
二節	<small>げいのう</small> 芸能 153
一	<small>か ぶ き</small> 歌舞伎 153
二	<small>のう きまうげん</small> 能と狂言 157
三節	スポーツ 160
一	<small>す もう</small> 相撲 160
二	<small>じゆうどう</small> 柔道 166
三	<small>から て</small> 空手 168
四	<small>けんどう</small> 剣道 169

第六章 日本語 171

一節	文字の歴史 171
二節	「話し言葉」と「書き言葉」 175
三節	<small>けいご</small> 敬語 178
四節	『 <small>こうじえん</small> 広辞苑』の『 <small>しんご</small> 新語』から 182

第七章 文学 185

一節	<small>こてん</small> 古典 185
一	<small>げん じ ものがたり</small> 源氏物語 185
二	<small>まんようしゆう</small> 万葉集 190
三	<small>まくらのそうし</small> 枕草子 194
四	<small>ひやくにんいつしゆ</small> 百人一首 199

二節・近代の小説	204
一 夏目漱石	204
二 森鷗外	207
三 島崎藤村	209
四 村上春樹	211
三節・俳句、詩、短歌	214
一 松尾芭蕉(俳人)	214
二 宮沢賢治(詩人、童話作家)	220
三 石川啄木(歌人)	222
四節 昔話	225
一 鶴の恩返し	225
二 桃太郎	227
三 一寸法師	229

八章 日本人の行動様式 233

一節 農耕生活と文化	233
二節 集団志向	236
三節 序列社会	237
四節 和の精神	238
五節 信仰心と宗教	239

九章 和食 245

一節 すし(寿司・鮓)	246
二節 天ぷら(天麩羅)	248
三節 すき焼き	249
四節 鍋料理	249
五節 納豆	251

あとがき 252

一章

「日本」の姿

「東日本大震災からの復興と原発事故の収束」に取り組んでいる日本は、「経済再生」への道を歩んでいる。

2012年12月の総選挙で自民党が圧勝し、自民党と公明党による「自公連立政権」が発足し、安倍晋三内閣が誕生した。政治、経済、財政、外交、高齢化社会、教育などの課題を抱え、放射能汚染水の処理や廃炉（原子炉の解体）の問題もある。一方、安倍内閣が決定した「集団的自衛権の行使容認」が論議を呼んでいる。

2011年（平成23年）3月11日の東日本大震災は、岩手、宮城、福島に未曾有の被害をもたらした。特に、東京電力・福島第一原子力発電所の原発事故は、放射能の恐怖という大きな爪痕を残した。大震災による死者は1万5,884人に達し、2,633人の行方が分からないまま。（2014年3月時点）。

しかし、日本は、「がんばろう！日本」を合言葉に、「絆」と「我慢強さ」で復興へ大きく前進した。2020年に56年ぶりの「東京オリンピック・パラリンピック」が開催される。「安全で豊かな日本」の国づくりが求められている。



一節

政治の歩みと課題

日本の当面の政治課題は、東日本大震災による放射性廃棄物の処分・放射能汚染水の処理など「原発事故」の収束と、新たな「経済再生」の実現だ。

安倍首相は就任後の2013年1月、所信表明演説で「わが国にとって最大かつ喫緊の課題は経済の再生だ」と述べた。

経済再生をめざす安倍内閣の経済政策は、「三本の矢」からなっている。

①日銀（日本銀行）が市場に流すお金を増やす大胆な「金融緩和」、②公共事業などを通じて景気を刺激する最大の「財政政策」、③規制緩和や企業向け減税などで民間投資を喚起する「成長戦略」の三つで、これを「アベノミクス」と呼ぶ。

「輸出を増やして企業の業績を上向かせ、社員の給料を増やし、消費を促して経済を成長させる」という「経済の好循環」が目標。2014年（平成26年）度政府予算（一般会計の当初予算）は95兆8千億円で過去最大の規模。

2014年6月、「第三の矢」である「新成長戦略」を打ち出した。「法人税率を数年で20%台に下げる」、「働いた時間より『成果』を重視する雇用制度の導入」、「外国人労働者の受け入れ拡大」、「女性の活躍推進」などが大きな柱。

一方、安倍内閣は2013年12月に、国の安全保障の秘密情報を漏らした公務員や民間人に厳罰を科す特定秘密保護法を制定した。2014年7月には、他国のために自衛隊の武力を使う「集団的自衛権の行使容認」に踏み切った。

アジア近隣諸国との友好関係のほか、財政健全化、少子高齢化に伴う社会保障政策など、日本が抱える課題は少なくない。

🌸 「民主党政権」から「自民政権」へ

2012年12月の総選挙（衆議院議員選挙）で、野党の自民党が大勝し、政治状況が一変した。12月26日の特別国会で、自民党の安倍晋三総裁（58）が第96代首相に選出された。安倍氏は2006年9月から約9カ月、第90代首相を務めており、5年ぶりの再登板。同日、3年3カ月続いた民主党政権に代わって、自民党と公明党の「自公連立」の「第2次安倍内閣」が発足した。

2009年8月の総選挙で、当時野党だった民主党が「変革」を訴えて圧勝して政権を握った。選挙による初の政権交代で、1955年以降の一時期を除いて続いた自民政権が終焉した。しかし、民主党政権は3年3カ月で幕を閉じた。

「民主党政権」は、民主党・社民党・国民新党3党による「連立内閣」としてスタートしたが、民主党の党内抗争や首相の指導力不足のため、首相は、鳩山由紀夫氏から菅直人氏に、そして野田佳彦氏に代わった。鳩山氏は母親から贈与された多額の資金を他人名義の献金に偽装した「虚偽献金」問題などが批判され、菅氏は超巨大地震と原発事故への対応が遅れたことで支持を失い、野田氏は大量の離党者を出すなど党内をまとめきれず、「首相の座」を退いた。

日本の首相は、アメリカの新聞が「回転ドア首相」と皮肉ったように、安倍氏が最初に就任した2006年9月以降、約8カ月～約1年3カ月の短命に終わっている。首相がリーダーシップを発揮できなかったことが最大の理由だ。

.....

2012年12月16日の第46回衆院総選挙（定数480議席）で、自民党が単独過半数（241議席）を大幅に上回る294議席を獲得した。「連立」を組んだ公明党の31議席と合わせた議席は「325議席」となり、参院で否決された法案を衆院で再可決できる「3分の2（320議席）以上」を確保した。



新日本概況

一方、与党だった民主党は大量の離党者を出した上に、「マニフェスト（政権公約）」を実現出来なかったため、国民の信頼を失い、公示前の議席（230議席）から4分の1（57議席）に激減した。「中学生までのすべての子どもに1人当り月額2万6千円の子ども手当て」の公約が「3歳から中学生まで、月額1万円」に終わるなど、財源の裏付けがないため、「公約違反」が続出した。

総選挙で、大阪府知事だった橋下徹氏（大阪市長）が中心になって作った「大阪維新の会」を母体に政界の「第三極」として登場した「日本維新の会」（代表・石原慎太郎前東京都知事、橋下大阪市長）は、総選挙で「54議席」を獲得し、民主党について野党第二党になった。「みんなの党」は議席を18議席に増やした。

総選挙の仕組みは、全国300選挙区で1人ずつ選ぶ小選挙区（300議席）と、11ブロックに分けて政党で争う比例区（180議席）を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」で行なわれた。小選挙区の投票率は戦後最低の「59.32%」だった。

2013年7月に参議院議員選挙が行なわれ、自民党が総選挙に続いて勝利した。連立を組んだ公明党との議席が135人に達し、「定数242人」の過半数を超え、「自公連立政権」は一段と安定した。

❁ 「第二次安倍内閣」の誕生

5年ぶりの再登板となった安倍首相は、第2次安倍内閣を「危機突破内閣」と名付け、全閣僚（18人）に「経済再生、東日本大震災からの復興、危機管理の三つに全力で取り組むよう」指示し、「デフレ脱却」による「経済再生」を最優先課題に掲げた。「デフレ（デフレーション）」とは、物価の下落、失業者の増大や企業の倒産などによる不況をいう。

首相経験者の麻生太郎氏（72）を副総理・財務相・金融相にして、財政と金融の両面から「デフレ脱却と円高対策」を担当させた。また、甘利明氏（63）を経済財

政政策の司令塔として経済再生相に任命した。

ほかに、総務相が「地方分権改革」、環境相が「原子力防災」、沖繩・北方担当相が「海洋・領土」、経済産業相が「社会保障・税の一体改革」、国家公安委員長が「国土強靱化、防災」、少子化・消費者担当相が「男女共同参画」などを担当。

2014年9月の内閣改造で、安保法制、地方創生、女性活躍の担当相を新設した。

政策課題

「経済再生」だけでなく、多くの課題を抱えている。国債などの借金が1千兆円を超える「国の財政」の健全化、東日本大震災と原発事故からの復旧・復興のスピードアップ、社会保障と税の一体化、「脱原発」と新しいエネルギー政策、TPP（環太平洋経済連携協定）への参加とアジアの国々との経済圏構想、外交の柱に据える日米同盟の強化、「歴史・領土」問題でギクシャクする中国・韓国との関係修復、高齢化対策、「いじめ」に代表される教育問題、沖縄県の米軍普天間飛行場の移設問題、「政治とカネ」の問題や衆院議員定数（480議席）の削減など。

「集团的自衛権の行使容認」も、外交・防衛の大きな論点になっている。

円高対策・経済再生・財政健全化

【円高対策】

2008年の「リーマン・ショック」以降、円高基調となった。欧州の財政不安と東日本大震災が重なり、2011年後半から2012年前半に「歴史的な円高」に見舞われた。2011年1月に「1ドル83円台」だった外国為替市場の円相場が、2011年10月と2012年6月に、一時「1ドル77円台」になった。日本経済は、急速な円高のため、輸出に急ブレーキがかかり、国内産業が衰退し、雇用の機会が失われた。しかし、民主党政権は有効な手を打てなかった。